福岡管区気象台
Fukuoka Regional Headquarters ,JMA

報　道　発　表

平成 30 年 5 月 17 日
防　災　調　査　課

「九州･山口県 防災気象情報ハンドブック 2018」を発行しました

―　地域防災力の向上を目指して　―

地域の総合的な防災力の向上を目指して、「九州・山口県　防災気象情報ハンドブック 2018」を発行し、防災機関のほか一般の方にも利用していただくため教育委員会や公立図書館などを含め広く配布しました。

福岡管区気象台では、毎年「九州･山口県　防災気象情報ハンドブック」（以下「ハンドブック」と言う）を制作･発行しており、今回 2018 年版を発行し、福岡管区気象台のインターネットホームページにも掲載しました。

ハンドブックは、公助だけでなく自助･共助にも役立つ防災に関する総合的な手引きとして、防災気象情報の解説のほか、最新の話題（トピックス）や災害に関する知識や統計資料などを掲載し、毎年最新の内容に更新しています。

国や県、市町村などの防災機関だけでなく、地域コミュニティーや住民など地域が災害に対する対応能力（いわゆる地域防災力）を高めることは、防災･減災に効果的であると考え、九州･山口県内の全ての市町村の教育委員会や公立図書館などを含めて、広く配布しました。

ハンドブックの概要は別紙のとおりです。

URL　http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/chosa/handbook/handbook.pdf

問合せ先：福岡管区気象台防災調査課　担当　立川・安留
電話 092-725-3614　FAX　092- 725-3163

別紙

「九州･山口県　防災気象情報ハンドブック 2018」の概要

➢トピックス

昨年発生した災害に関する話題のほか、新たに提供を開始した防災気象情報について解説しています。

･平成 29 年 7 月九州北部豪雨
･九州北部豪雨で防災気象情報はどのように使われたのか
･防災活動で有効となるきめ細かな「危険度分布」
･南海トラフ地震への備え（新たな情報の発表と地震･津波防災）

➢防災気象情報の手引き

新たに提供を始めた大雨警報･洪水警報の危険度分布および南海トラフに関連する情報を含め、気象、地震･津波、火山の分野ごとに災害と防災気象情報について解説しています。

➢資料

過去の災害をもたらした現象に関する資料集を掲載しています。今回台風に関する資料を見やすく再構成しました。

➢配布の拡大･強化　（配布対象は九州各県および山口県内）

地域防災力の向上に寄与することができるよう、内容の充実だけでなく配布先を以下のとおり拡大･強化しました。

･防災機関　（追加拡大）
国や県の機関や市町村役場に加えて、災害時に防災の最前線で活動を行なう国や県の出先機関、市町村の支所、消防本部、警察署にも配布

･報道機関　（追加拡大）
九州ブロックや県域を放送･配達エリアとする報道機関に加えて、地域密着の報道を行なうケーブルテレビやコミュニティーFM、地域の新聞などにも配布

･教育関係機関　（新規）
各県の教育庁のほか管内の全市町村の教育委員会に配布

･公立図書館　（新規）
地区の防災リーダー（消防団員、区長、自治会長など）のほか防災組織などに所属しない方にも利用できるよう全ての公立図書館に配布

「九州・山口県　防災気象情報ハンドブック2018」の発行
―　地域防災力の向上を目指して　―

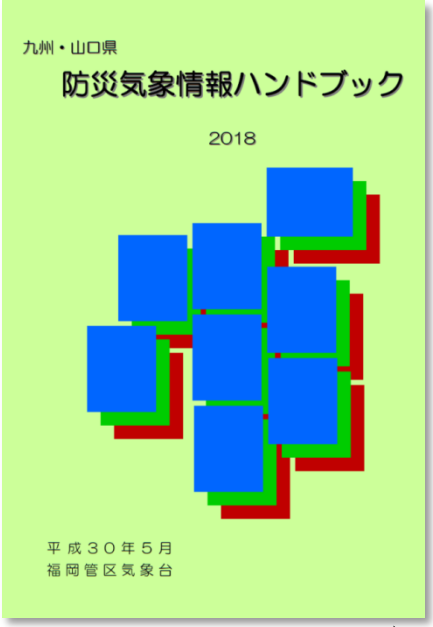
国の機関
（ブロック、各県出先）

県の機関
（県庁、地域出先）

市町村　（支所含む）

消防本部・警察署

配布を拡大・強化



新規に配布

地域メディア

公立図書館

市町村教育委員会

公助

消防団員
地区の防災リーダー
近隣住民
学校教職員　など

共助

自助

国　　民